

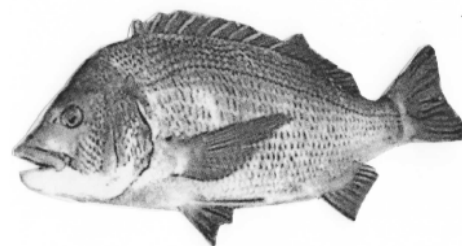
第543回大会レポート

日時：平成23年8月7日

場所：白杉 一本松渡船

担当班長：秋山 氏

レポート：山川 桂



例年なら、仕事上参加できない時期なのですが、参加することができました。

今日は、久しぶりの白杉大会、参加者9名という大人数でにぎやかな中、渡船開始です。

イカダ抽選の結果、西山さん、河野会長、田辺さん、石川さん、松元班長、秋山班長。

平井さん、私の順で2名ずつ筏に乗り最後は金物さんは1人です。

まずは、大物狙いでシラサエビを付け、落とし込みます。数投するとチャリコの25cm級が釣れました。チヌはいないのでダンゴ釣りにチェンジ。となりのイカダで松元班長がガシラの30cm級やシマイサギ40cm級を、秋山班長が30cm級のキスをなどを釣りにぎやかです。左隣の金物さんもチャリコの25cm級の数釣りを楽しんでおられます。

しばらくして、西山さんが本命のチヌを釣ったという情報が入り、やる気モードに入ります。私も、アコウ、チャリコ、アジ等を釣り魚の活性は悪くないようですが本命の気配がありません。お隣の平井さんも同じような状況です。何時頃かわかりませんが、シラサエビで寸足らずのチヌが釣れましたが、この頃から晴天で、とにかく暑い。パラソルをしていますが、タオルを氷水に浸し頭や首筋を何度冷やしても、我慢できないくらいです。

午前10時頃には、ギブアップ寸前、隣の平井さんが気になり、大丈夫ですか？と声をかけるが、涼しい顔で釣をしておられます。平井さんはスーパーマン？

松元班長が、昼頃、暑さの為、早上がり非難。西山さんも昼前に避難していたそうです。

(当日は最高気温37℃前後あったようです。皆さん、釣に熱中しすぎて、熱中症にならないように注意しましょう!!)

Pm12：18頃、穂先にフワフワと大物が来ている気配を感じ、そのままアタリを待つが喰わないので、シラサエビからオキアミにチェンジしたとたんに前アタリ、針が1号だったので(シラサエビを使っていた為)じっくり呑みこまず為、穂先でついていきアワせると乗りました。44.3cmでした。

参加者

河野会長、田辺氏、石川氏、松元班長、秋山班長、金物氏、平井氏、西山氏、山川
計9名

成績

長寸優勝：山川 44.3cm (寸足らず1枚)

長寸2位：西山氏 39cm (寸足らず1枚)

他 河野会長 (寸足らず3枚)

金物氏 (寸足らず1枚)

以上